

インターネット環境があればOK

第1章

データ作成から発注/動作確認まで、一連の流れを見てみよう

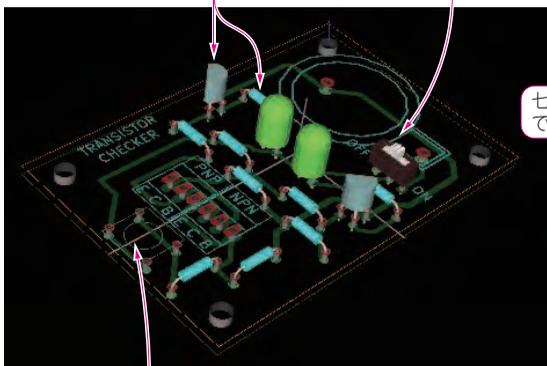
誰でもカッコよくキマル！ プリント基板はパソコンとCADだけで作れる

漆谷 正義 Masayoshi Urushidani



基板CAD上で配置した部品データが指定どおりの形状か確かめる

部品どうしの接触がないかチェックする



七つの手順で実現！

3Dライブラリがない部品はフットプリントだけが表示される

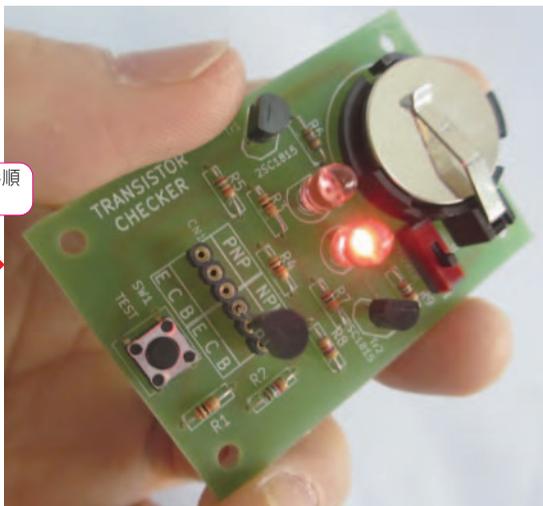


写真1 部品実装後トランジスタ・チェッカを動作させているところ(実機)

図1 プリント基板CAD KiCadで作成が完了したトランジスタ・チェッカ基板の3D表示

基板のレイアウトが完了するとパソコン上で部品実装後のイメージをつかめる。本章では本器をKiCadで作るためのデータ作成方法から発注/動作確認までの流れを紹介する

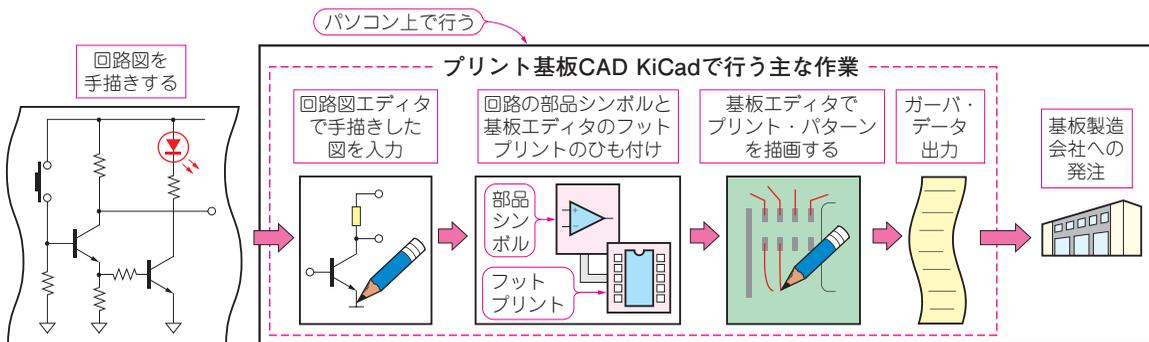


図2 手描きの回路図作成から基板発注までの流れ

プリント基板CAD KiCadでは主に点線内の作業を行う。パソコンとインターネット接続環境があれば基板発注まで行うことができる

本稿では、フリーで定評のあるプリント基板CAD KiCadを使い、回路のデータ作成から発注/動作確認までの流れを解説します。

図1は今回KiCadで作成したトランジスタ・チェッカの基板レイアウトの3D表示です。写真1は部

品実装後トランジスタ・チェッカを動作させているところです。

プリント基板を作ると、シンプルな回路であっても、格好良くコンパクトに作れます。